

CSF対策に補助金

主な補正予算の内容

増額

ふるさと納税

2億2千万円
(補正後 4億5千万円)

ふるさと納税額が11月末現在で当初予算額の2億3千万円に到達すると見込まれるため、過去の実績から試算し、2億2千万円を増額するものです。



増額

児童保育費

3730万円
(補正後 4億4621万円)

保育園や認定こども園等に対する補助単価の改定と園児数の増加による増額です。



新規

CSF対策・ 野生動物侵入防止柵 設置事業補助金

160万円

村内養豚農家を対象に、野生動物侵入防止柵を設置する事業者に対し、事業費のうち国や県の補助金を除いた額に対して、補助金を交付するものです。

また、イノシシ捕獲用檻2基を新たに購入するなど、CSF感染の防止に努めます。

新規

産後ケア事業委託料

15万円

出産後、家庭環境や心身の不調、育児不安などにより、サポートが必要な者が医療機関から母子のケアや育児指導などを受けられる事業です。



(1万円未満切り捨て)



2月末までに県内全域でCSFワクチン接種完了予定

**補正
予算**

令和元年度

一般会計

**2億1785万円
増額**

前年度を上回る
ふるさと納税で増額

《全員賛成》

提案理由 歳入は、交付額確定に伴う特定防衛施設周辺整備調整交付金の減額のほか、国庫支出金及び県支出金は、事業内容の変更や交付額の決定による増減です。その他ふるさと納税の増額です。

補助単価の改定と園児数の増加による増額です。また、CSF対策で野生動物侵入防止柵の設置の補助金やイノシシの捕獲推進、イノシシ捕獲用おりを購入する経費です。他には、ふるさと納税に対する返礼に係る経費の増額です。

第4回定例会は、12月5日から12月13日までの会期で開かれました。一般質問には、4人の議員が登壇し、防災対策、高齢者の犯罪被害対策等について質問しました。また、議案12件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

※ CSF…CSFウィルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病で、強い伝染力と高い致死率が特徴。